

1. 単元名 広陵町の未来 ー将来の暮らしをより豊かにするためにー

2. 単元の目標

- ・ 広陵町の施策や支援について理解する（知識・技能）
- ・ 広陵町の抱えている課題や目標について理解する（知識・技能）
- ・ 広陵町の課題や目標をどのようにすれば解決できるか考えられる（思考・判断・表現）
- ・ 自分の将来の暮らしを考え、どのような支援があればよいかを考えられる（思考・判断・表現）
- ・ 町民全員にとっての豊かさについて考えられる（思考・判断・表現）
- ・ 積極的に情報を集め、多様な視点から考えようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 単元について

（1）教材観

本単元は「広陵町の現在と未来」というテーマで行う。自分たちの住む町の話であるので、生徒がより興味を持ち自分ごとと考えることができると教材である。現在と未来という2つの時間を設定することでより現在の広陵町について再評価し、未来の広陵町に必要なことを考える基盤になる。そのことにより、自身も広陵町を形成する一人の町民であるという自覚を持つことができると考えられる。また本単元では自分や自分の家族だけでなく、町民全員にとっての豊かさや暮らしやすさを考えるので世代間公正と世代内公正について考えを持つことができると考えられる。

（2）生徒観

生徒は小学3年生の社会科で「私たちの広陵町」という単元を既習済みである。「私たちの広陵町」では広陵町にはどのような特産物や施設があるのか、どのような人が生活をしているのかという広陵町のよさや特徴について学んだ。本単元では広陵町の住民の生活を支える施策や支援に焦点をあてる。生徒は小学3年以降広陵町について学習する機会が必ず設けられているわけではない。中学だからこそ、行った小学校と行っていない小学校があると考えられる。そのため中学2年生で今一度より深く広陵町の施策や支援について学ぶことで、家族の生活、自分の生活をよりよくするための手立てを考えていくことができると考えられる。

（3）指導観

本単元は最初に広陵町がどのような施策や支援を行っているのかということについて学ぶ。次に広陵町がもつ課題と目標について学ぶ。班活動の形式で学習活動に取り組む。はじめに自身が興味を持つテーマを考え、似たテーマを持つ人同士で班活動を行う。したがってクラスの数分のテーマがあるということになる。次に自身のテーマについて概要・今掲げられている目標・将来自身の望むあり方の3点について調べ自身の考えを持つように指導していく。調べ方はインターネットを駆使して集めたり、保

護者の方などの意見や着眼点も必要であれば行うように指導する。そして3点について考えをまとめられたら、班で持ち寄り一つの資料を作成していく。それぞれの内容についてもお互いに確認し、より良い考えが生まれないうかを考えていく。最後に作成した資料をクラス全員で共有し質問会を行う。これらの活動では世代内の公正だけでなく、世代間の公正を考え、生徒が将来広陵町で暮らすことについて考えを持てるようにしていく。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- B 相互性：それぞれの目標の関連性
- C 有限性：目標達成を考える際、資源は有限であることを考慮する
- D 公平性：「町民全員」に関わることでありと考える
- E 連携性：それぞれに協力しあうことで成し遂げられることがある

・本学習で育てたいESDの資質・能力

- ①批判的に考える力：現在の取り組みを理解し、分析する
- ②未来像を予想して計画を立てる力：現在を踏まえたうえで、自身の将来を想像し、必要なことが何かを考える
- ③多面的・総合的に考える力：視点を複数持ち、「町民全員」がよいと思える町を考える
- ⑤他者と協力する態度：目標は一人で達しえすることはできないので他者と協力して目標を達成しようとする
- ⑦進んで参加する態度：この授業だけはもちろん、授業後も町に興味を持ち実行できる

・本学習で変容を促すESDの価値観

- 世代間の公正を意識できる：幅広い年代が暮していることによりおきる相互の課題点を理解し解決に向けて考える
- 世代内の公正を意識できる：住んでいる場所により課題点は様々であることを理解し解決に向けて考える
- 人権・文化・平和を尊重できる：現存されている古墳などを含め文化を守ることや、それぞれの人権・平和をより尊重できることはどのようなことであるかを考える。

・達成が期待されるSDGs

目標3・目標6・目標8・目標9・目標11・目標12・目標16

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①広陵町の施策や支援について理解する。 ②広陵町の抱えている課題や目標について理解する。	①広陵町の課題や目標をどのようにすれば解決できるか考えられる。 ②自分の将来の暮らしを考え、どのような支援があれば	①積極的に情報を集め、多様な視点から考えようとしている。 ②班員で協力して行おうとしている。

	よいか考えられる。 ③町民全員にとっての豊かさについて考えられる。	
--	--------------------------------------	--

5. 単元の指導計画（全7時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○自分にとっての暮らしやすい町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考える生活の「豊かさ」とは何だろう。どのような暮らしを想像するだろう。 <p>○広陵町について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広陵町のパンフレット「第4次広陵町総合計画みんなの広陵元気プラン」を読み広陵町の課題や目標について学ぶ。 ・政策目標の中からどの政策について探求したいかを選択し、他のメンバーとどのような事柄について探求するかを話し決め合う。 <p>○政策目標1「住みよい美しい安全な環境づくり」について考え、探究を行う。</p> <p>○探究した内容のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が現在の暮らしをもとにどのようなものや支援があればよいと感じるか具体的に想起させる。 ・「第4次広陵町総合計画みんなの広陵元気プラン」を配布する。 ・それぞれで探究できる項目がわかる資料を用意する。 ・探究する項目について調べ、プリントにまとめられるようにする。 	<p>△ア①② △ウ③</p>
2	<p>○分かれた班（2-6の範囲）で探究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの探求テーマに沿ってタブレットなどを使用して調べていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれがどのようなことについて調べているのかを把握して、助言を求められたときにできるように調べたりしておく。 	<p>△ア①② △イ① △ウ①②</p>
3	<p>○分かれた班で探究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場の方に来ていただき、前時とまとめた内容について詳しい話を伺ったり、疑問点や質問をして探究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えをまとめることが難しい生徒もいると考えられるので、声掛けや具体的な案や他の生徒との交流の時間を設けたりする。 ・より詳しい内容を的確にまとめられるようにメモを用意しておく。 	<p>△ア①② △イ② △ウ①②</p>
4	<p>○分かれた班で探究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の探求を踏まえて、自分がこれからできることについて考える。 ・班で話し合い、もっと調べる内容が 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時と同じような支援を行っていく。 ・次時で資料を作成するので、どのような形態にするのか聞いておく。 	<p>△イ③ △ウ①②</p>

	ないか確認しあう。		
6	○各班の内容を集めて独自の「広陵元気プラン」を作成する。	・資料作成が行いやすい環境を整える。	△ウ①②
7	○質問会を行う。 ・前時で作り上げた「広陵元気プラン」を共有する。 ・全員の班の資料を読み、質問を持ったらその班の人に聞きに行く。 ・受けた質問内容は必ず書いておく。	・質問をしやすいようにプリントを作成しておく。 ・受けた質問についても記入するプリントを作成しておく。 ・役場の方に中学生が考えた「広陵元気プラン」を見ていただき、コメントを頂けるようにする。	△イ③ △ウ①②